



【経歴】昭和58年3月2日生、新曾小学校・頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学・慶應義塾大学大学院法務研究科（法務博士（専門職））、内閣府非常勤職員、国會議員公設秘書、戸田市議会議員（1期目3,148票、2期目3,468票、連続第1位で当選）、埼玉県議会議員（13,610票、戸田市初の女性県議として当選）【所属】政党無所属、手話検定1級、書道準初段、防災士【連絡先】〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL: 048(235)5358 FAX: 020(4669)8668 ホームページ: <http://konnodomomo.com/> メールアドレス: info@konnodomomo.com



埼玉県ニュース 校名が「戸田かけはし高等特別支援学校」に決定！

令和3年4月に、戸田翔陽高校内に特別支援学校が設置される予定ですが、その学校の名前が「戸田かけはし高等特別支援学校」になることが決定しました。名前の由来は、戸田翔陽高校や地域との連携を推進し、障害のある人とない人をつなぐ、共生社会の地域モデルとなる学校をイメージされることや、「かけはし」は、地元戸田市を流れる荒川を連想させ、地域からの親しみを感じさせることです。



戸田かけはし高等特別支援学校

埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例

令和3年4月開校 県内で初めて高校敷地内に、新たな特別支援学校を設置

埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校

設置の趣旨
県南部地域の特別支援学校の児童生徒増に対応

学校の概要

- 設置場所 戸田市大字新曾字稻荷1093番地1（戸田翔陽高校敷地内）
- 設置学部等 知的障害・高等部（普通科）
- 設置規模 240人程度
- 通学区域 戸田市 川口市 蕨市

かけ
・
はし

埼玉県知事記者会見 戸田かけはし特別支援学校

埼玉県議会ニュース 知事会見・埼玉県議会に手話通訳者を配置！



県知事会見に手話通訳者を配置！

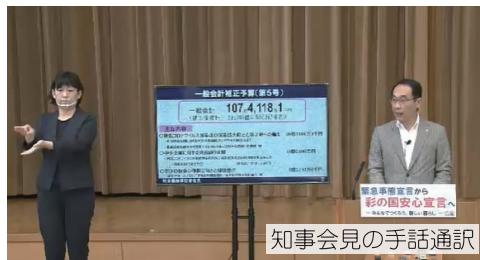
コロナ禍において全国の知事会見に手話通訳が設置されている中、埼玉県では知事会見に手話通訳が設置されていませんでした。私のもとにも県内の聴覚障がい者の皆さんからご要望を頂き、会派として手話通訳の設置を要望しました。

その他多くの要望を受け、知事会見に手話通訳が設置されました。5月1日から年度末まで、予算額は660万円です。

引き続き、障がいのある方の情報保障の確保に取り組んで参ります。



会派予算要望



知事会見の手話通訳



県議会に手話通訳者を配置！

埼玉県議会ではこれまで議場に常設の手話通訳はありませんでしたが（傍聴者で手話通訳を希望する場合は事前申し込みにより設置可能）、6月定例会では試行的に手話通訳が設置されました。開会日、一般質問、閉会日の計7日間で予算額は166万円です。実施後に結果を検証し、効果や課題を検証します。

私は、手話通訳の試行を実際に議場で見て、手話検定1級の知識と経験を活かし、「手話通訳者の立ち位置を発言者に近い場所にすること、難しい行政・政治用語を的確に手話通訳をするのは難しいこと、字幕の設置が望ましいこと」等を指摘しました。

引き続き、議会への手話通訳の常設を求めて参ります。



議場の手話通訳

6月定例会 新型コロナウィルス感染症対策として過去最大の補正予算を可決！

補正予算 第4号	53億203万3千円	補正後累計 2兆178億4,448万6千円
概要	新型コロナウィルス感染症対策に係る緊急事態措置期間の延長に伴い、厳しい経営状況にある県内事業者に対する支援を実施するため、「埼玉県中小企業・個人事業主追加支援金」の支給に要する経費について補正予算を措置した。	
内容	休業した中小企業・個人事業主への支援金（追加分）の支給	



コバトン

補正予算 第5号	107億4,118万1千円	補正後累計 2兆285億8,566万7千円
概要	新型コロナウィルス感染症対策として検査・医療提供体制の更なる強化を図るとともに、県内事業者への支援や児童生徒の学びの機会の確保等に要する経費について補正予算を編成した。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染拡大防止と第2波への備え <ul style="list-style-type: none"> ・抗原検査の導入や民間検査機関におけるPCR検査体制の拡充 ・重症患者治療体制を強化するためのTele-ICU体制整備への助成 ・市町村が実施する新型コロナウィルス感染症対策事業への助成 ○ 中小企業に対する資金繰り支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウィルス感染症対応資金及び経営安定資金の融資枠の更なる拡大 	

補正予算 第6号	1,484億4,435万9千円	補正後累計 2兆1,770億3,002万6千円
概要	国の補正予算に迅速に対応し、新型コロナウィルス感染症の事態長期化・第2波に備えるため、医療提供体制の強化や医療・介護従事者等を支援するとともに、中小企業・個人事業主等への家賃支援などに要する経費について補正予算を編成した。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療提供体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・重点医療機関に対する病床確保・設備整備への助成 ・医療機関・薬局等の院内感染防止対策への助成 ・クラスター化を防止するコロナ対策チーム（COV-MAT）の設置・運営 ○ 医療・介護従事者等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者等への慰労金の支給 ・介護施設等の職員への慰労金の支給 ・感染症治療に対応する医療従事者への支援 ○ 感染拡大防止対策等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設等における感染防止対策やサービス再開に向けた支援 ・幼稚園及び県立学校における感染防止対策 	

環境農林委員会 学校給食で県産和牛肉を提供！ 戸田市でも提供へ！

環境農林委員会では、新型コロナウィルス感染症対策の補正予算、埼玉県手数料条例の一部改正する条例、指定管理者（埼玉県農林公園、埼玉県農民の森、埼玉県みどりの村、埼玉県森林科学館、埼玉県種苗センター等）に係る事業報告書及び事業計画書等について審議しました。

このうち、学校給食で県産和牛肉を提供する事業があり、（予算総額6億4,244万円（国庫負担10分の10）、1人1回100g以内で年間3回を上限に県産和牛が食育教材とともに提供されます。

同事業について、私は、①県産和牛肉等を学校給食で使用することを希望している学校は全校の半分以下だが、募集を改めて行うのか、②新型コロナウィルス感染拡大



環境農林委員会
石川ただよし議員（久喜市）と

による消費の落ち込みを支援する、というこの事業の目的は子供や保護者などに周知するのか、を質疑しました。

これに対し、畜産安全課長より、①新型コロナウィルス感染拡大により県産畜産物も影響を受けているため、6月に県産畜産物の消費拡大の協力を市町村農政課と教育委員会にお願いした。その際に、牛肉にはBSEや放射能の影響はなく安全である旨を伝えた。学校が再開したこともあり、改めて本事業を実施するかについても希望調査を行った。希望があった市町村と現在、調整を行っている。②牛肉提供時に合わせて食育教材を配布することとしており、教材に事業目的を盛り込むなどして周知したい、との答弁がありました。

戸田市は手上げをしているため、戸田市の子供たちは給食で県産和牛肉を食べることができます。楽しみにしていてくださいね！

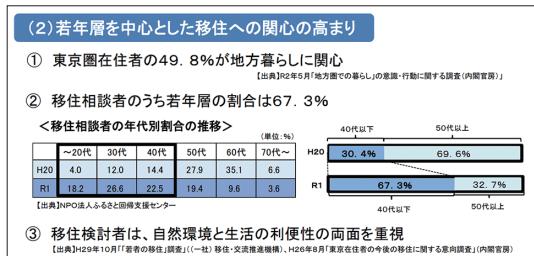


環境農林委員会

地方創生・行財政改革特別委員会 県内への移住希望者が増加傾向！

地方創生・行財政改革特別委員会では、地方分権改革、魅力ある地域づくりについて審議しました。

このうち、県内への移住者の増加について、私は、①平成20年から令和元年にかけての移住相談者の推移における、40代以下の若年層の割合が増加しているが、その要因をどのように分析しているのか、②移住相談者について、テレワーク導入が拡大されていく中で、新型コロナウィルス感染症の影響によってどのように変化すると考えているのか、質疑しました。



これに対し、地域政策課長より、①まず、「NPO法人ふるさと回帰支援センター」での移住相談件数そのものが年々増えており、令和元年は約5万件である。若年層の増加について、同センターでは、リーマンショックや東日本大震災によ

り、安心安全を求めたり、自己欲求を満たしたりするよりも家族を大切にしたりするなど、ものの考え方や価値観などが大きく変わってきたというからと分析している。また、都心在住で地方出身の若い世代の間で、就職・結婚した後に、都心よりも自然環境豊かなところで暮らしたいというニーズが高まっているということも聞いている。②テレワークが普及し、1週間に5日間通っていたのが、週に1日だけ、月に1回だけ本社に出社すれば済むという状況になれば、埼玉県は、都心に1時間圏内で通える点や自然が間近にあるという点で優位性があると考える。今後、自然環境と生活の利便性を求める傾向が更に強まるのではないかと考える、との答弁がありました。

今後、「ウイズコロナ」の中で住む場所の多様性が広がり、埼玉県への移住者が増えることを願っています。



地方創生・行財政改革特別委員会
平松だいすけ議員（新座市）と

無所属県民会議 迷惑行為等防止条例改正プロジェクトチーム発足！

近年、スマートフォンの普及や技術の進歩により、高性能で小型のカメラやカメラ機能を搭載した機器が普及し、公共の場所や公共の乗物以外の場所における盗撮行為が多発し、被害者が増大しています。現行の迷惑行為防止条例では規制の対象になってない空間が多いことから、盗撮の規制範囲を拡大することが求められています。

こうした現状を踏まえ、無所属県民会議では、「埼玉県迷惑行為防止条例改正プロジェクトチーム」を立ち上げ、条例改正に向けて検討を重ねてまいりました。

主な改正点として、現行の他、「不特定または多数の人が入れ替わり立ち替わり利用する場所・乗物」などを新たな規制対象場所とします。

規制範囲を拡げる事により、「盗撮」行為と被害者を減らし安全安心の埼玉県を構築します。



迷惑行為等防止条例改正プロジェクトチーム

<主な改正点>

1 目的

卑わいな行為として盗撮行為を規制する場所等を拡大し、罰則を強化するとともに、不当な客引行為等の禁止に関する規定を見直すことを目的とします。

2 規制の内容

(1) 目的規定の表現を修正

「県民生活」→「県民及び滞在者の生活」

(2) 盗撮行為の規制する場所等の拡大

従来「公共の場所又は乗物」に限定していたところ、以下の場所等に拡大と写真機を設置すること。

- ア 住居、便所、浴場、更衣室その他、人が通常衣服の全部又は一部を着けない状態でいるような場所
- イ 公共の場所、公共の乗物、教室、事務所、タクシーその他不特定又は多数の者が出入りし、又は利用するような場所又は乗物

(3) 不当な客引行為等の禁止に関する規定の見直し

「異性の客をもてなし」→「客をもてなし」

(4) 卑わいな行為に関する罰則の強化

「6月以下の懲役又は50万円以下の罰金」

→「1年以下の懲役又は100万円以下の罰金」

常習の場合「2年以下の懲役又は100万円以下の罰金」

ご意見対応 壊れた標識等があれば、ご連絡ください！

①ボートコースの水草・アオコがひどい

市内の複数の方から「ボートコースの水草・アオコがひどい」とのご意見を頂いています。すでに県としても毎年約7,000万円の予算を講じて対策をしていますが、更に議会で対策を求めました。



ボートコース

②美女木6丁目(北)交差点に歩行者用信号を付けてほしい

浅生市議よりご自身が見守り活動を行っている「美女木6丁目(北)交差点に歩行者用信号を付けてほしい」とご要望を頂きました。警察に要望し、設置に向けて協議を行協議を行い、今年度中に設置予定です。



美女木6丁目(北)交差点

③「止まれ」標識の電球が切れている

浅生市議より、「『止まれ』標識の電球が切れている」とのご連絡を頂き、すぐに警察に改善を要望し、即時に修繕をして頂きました。



before



after

④コロナ給付金の対象にNPO法人を含めてほしい

市内NPO法人の方から「コロナ給付金にNPO法人を含めてほしい」とご要望を頂きました。その後、NPO法人もコロナの影響を受け支援が必要と考え、会派として県知事に要望し、第二弾給付金からNPO法人も給付対象となりました。



無所属県民会議

編集後記

新型コロナウィルス感染症が世界中で猛威を振るっています。新型コロナウィルスを正しく知り、正しく怖がることが大切です。うがい・手洗い・換気・消毒を徹底し、自分がかからない・人に移さないように気を付けていきましょう。

金野 桃子

ご協力のお願い

「地盤・看板・カバンなし」のクリーンな活動を支えてくださる方を募集しています。ご寄付、事務作業、ポスティング等、ご協力いただける内容をお知らせください。

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
無所属県民会議戸田支部 こんの桃子 048-235-5358